

<No13 : 水準測量>

公共測量における1級水準測量を図13に示す区間で行ったところ、表13の観測結果を得た。この観測結果を受けて取るべき対応はどれか。最も適切なものを次の中から選べ。

ただし、往復観測値の較差の許容範囲は、観測距離Sをkm単位として $2.5\text{mm}\sqrt{S}$ で与えられる。

なお、関数の値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

観測区間 ① ② ③ ④
 水準点A ——— 固定点1 ——— 固定点2 ——— 固定点3 ——— 水準点B

図13

観測区間	往路の観測高低差	復路の観測高低差	観測距離
①	+5.3281 m	-5.3285 m	250 m
②	+5.9640 m	-5.9645 m	250 m
③	+5.7383 m	-5.7389 m	250 m
④	+5.0257 m	-5.0269 m	250 m

1. はじめに②を再測する。
2. はじめに③を再測する。
3. はじめに④を再測する。
4. 順序は関係なく①～④の全てを再測する。
5. 再測は必要ない。